

市議団ニュース

第1971号

2021年1月17日

日本共産党根室市議団

根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

新型コロナ感染者、管内で微増

全世界で猛威をふるい続けている新型コロナウイルス感染症。根室管内ではしばらくの間一ケタ台で落ち着いていましたが、12日現在で12名と公表されています。

「根室市新型コロナウイルス感染症対策本部」で公表されている情報によりますと…

市立根室病院におけるPCR検査および抗原検査の状況

・1月4日～10日の検体数 34件(うち陽性3件)
・累計検体数 296件(うち陽性8件)

12日現在、市立根室病院には6名の陽性患者が入院中で、コロナに係る感染病床10床の利用率は60%という状況です。

また、すでに報道されている通り、市内金融機関の職員の方が感染されたようですが、職場が年末年始休みに入ってから

の感染であり、当該金融機関に来店された市民の方はもちろん、他の職員への感染もないようです。

感染拡大防止のために、様々な行事が延期、中止になっています。

・第35回根室市子ども一首カルタ大会(1月中旬)中止

・子ども長靴アイスホッケー体験会(2月上旬)中止

・北海道根室まるごとフェア(2月中旬、新宿駅西口イベントコーナー)中止

・2021みんなでオンステージinねむろ(2月21日)中止

この他にも中止、延期になっている行事等がありますので、詳細については主催者にお問い合わせください。

根室市医療従事者等PCR検査事業

こつした中、根室市では、医療従事者、介護・福祉従事者等に対する感染予防対策として、PCR検査委託事業を実施すると

しました。全国で新型コロナウイルスの感染が拡大し、首都圏では緊急事態宣言が出されるなど、いまだ収束の兆しが見られない中で、日々感染の恐怖と隣り合わせで働かれています。医療従事者、介護福祉保育等従事者の方々への対応として、PCR検査を実施し、感染者が安心して働ける環境を維持することを目的としています。

紙智子「国会かけある記」

2021年1月11日

困っている人に寄り添う

日本共産党参議院議員 紙智子

日本列島に寒波が押し寄せ厳しく冷え込み、コロナ禍で例年になく年末年始です。元旦は衆議院比例予定候補の畠山和也さん、伊藤りち子さんと白石区の白石神社前、清田区の厚別神社前での街頭宣伝からスタートしました。

仕事始めの4日は、札幌駅前朝宣伝。新春の諸行事が中止になる中、感染への最新の注意を払いながら、団体訪問を行いました。コロナの影響が大きい観光・旅行業の株旅システムでは、国の支援策や経営状況、要望等をお聞きしました。同業者8社で持続化給付金の再給付、雇用調整助成金のコロナ特例の延長・増額等を求めるアピールを発表するといわれています。

北海道の種の会のみなさんが、遠方から駆けつけて下さり、昨年の種苗法改正案の論戦と運動、今後の課題について意見交換、今後に生かします。

北海道難病連センターでは、昨年「保健文化賞」(保健・福祉分野で顕著な実績を残した人に贈られる)を受賞されたお祝いを述べ、増田靖子代表と意見交換しました。「経済は、後から取り戻しても、人の命は元に戻りません」という言葉が胸に残ります。

新婦人、農民連、民医連、道労連等は、困っている人たちに寄り添い、連帯し支えあう活動に取り組んでいます。前に向かい打開しようとする姿に胸が熱くなります。

いよいよ1月22日に核兵器禁止条約が発効され、核兵器は違法化されます。今年初の「6の日」行動に参加し、日本で署名・批准を実現させようと訴えました。